

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	平成24年2月14日
評価確定日	平成24年3月14日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

(株)R-CORPORATION外部評価事業部

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日
		指定年月日	平成16年8月14日
法人名	医療法人桜城会		
事業所名	グループホーム友愛		
所在地	(246-0037) 横浜市瀬谷区橋戸3-54-9		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名
		定員計	9 名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	平成24年1月6日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族的な雰囲気と自由な気風

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成24年2月14日	評価機関 評価決定日	平成24年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームの経営母体は医療法人桜城会であり、桜城会は、このグループホーム友愛の他、妹さんの経営する歯科医院を展開している。ロケーションは相鉄線・瀬谷駅より徒歩15分位のところで、境川に沿った住宅地の中にある。近くには幼稚園、公園などが点在し、落ち着いた環境である。二階建て1ユニットの民家の改造ホームで、家主さんは地元企業の社長さん、以前には地元に関係の深い方が住んでいた所でもあり、地域との密着は強い。ご利用者の人格を尊重した理念を定め、それに沿った家庭的な雰囲気の中で自立支援を行っている。理念は、「家庭的雰囲気」、「人格の尊重」、「自立のお手伝い」それに「地域との交流」を加味して展開している。
②地域との関係では、自治会、老人会には当ホーム自体とご利用者個人が入会しており、老人会主催の「誕生会」で歌を歌ったりしている。近くにある幼稚園の行事では「もちつき大会」「夏祭り」などにお誘いがある。運営推進会議は現状、年数回程度の開催にとどまっているが、地域との関係は上記老人会などの関係も良好であり、付き合いも度々あるため必要最小限に止まっている。メンバーは自治会長、民生委員、区の相談員それに管理者とケアマネが中心である。入居者はご家族のご縁の薄い方が多く、ご家族の参加はほとんど無いが、ご利用者の中に比較的軽度の方が居るので参加している。横浜市のグループホーム連絡会の旭区、瀬谷区の分科会では役員を務め、地域のグループホームの管理者、経営者との横の連絡も深い。
③ケアについては、介護計画はセンター方式で行い、アセスメントは職員と一緒にカンファレンスを開き、ケアマネジャー（非常勤）が纏める形式を取っている。ここの特長は職員のコミュニケーションの良さであり、家庭的な良い雰囲気がある。常に話し合いを持ち、建設的な意見が出され、お互いに助け合って、和やかな気分が満ちている。食事の献立は、ご利用者達で決めており、栄養士さんから指導を受け、片寄らないよう配慮している。ご利用者は意見を言える人も多く、アセスメント等もご利用者から聞き出せることもある。職員のコミュニケーションでは、年2～3回は懇親会の機会を持っている。医療については、御殿山クリニックの協力により、月2回の応診、歯科は毎週の応診を実施している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に家庭的な雰囲気を保ち、父、母と接するような関係を心掛けている。	理念の「家庭的な雰囲気と人格の尊重」を掲げ、自立のお手伝いに徹し、「自分の親・家族と思って介護をする」ことをモットーに、全職員が、それを認識し、実践に繋げている。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人クラブに加入し定期的な行事にも参加している。	橋戸自治会にホームとして加盟しており、自治会行事（お祭り、防災訓練、運動会などに参加している。また、自治会内の老人クラブには利用者個々人が加入し、老人クラブ主催の定期的な行事（お誕生日会・花見会など）に参加している。瀬谷区の相談員の受け入れも開始した。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	横浜市GH連絡会等出席			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地元行事にも参加している。	メンバーは、自治会長・民生委員・区の相談員・利用者家族それにホーム関係者で行っている。基本的にはホームの状況報告、行事予定と実施状況について、また、利用者、職員等の異動についての課題が中心となっている。メンバーから地元行事をご紹介頂き参加している。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	本年は区の行事や介護相談員の受け入れの事業のモデルとして連絡を取り合っている。	本年は区の行事や介護相談員の受け入れの事業のモデルとして連絡を取り合い、受け入れている。生活保護の関係で瀬谷区、保土ヶ谷区・鶴見区と一部大和市の関係部署との連絡を取っている。瀬谷区・旭区合同のグループホーム連絡会（メンバー28事業所）では役員を務め、2カ月に一度の例会には出席し、情報交換・収集に努めている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や講習等にも参加して拘束のないケアを行っている。	身体拘束については、会議や講習等にも参加し、身体拘束のないケアの実践に努めている。玄関の鍵は常に開放状態にしてある。言葉の問題ではホームの理念では自分の親・家族と思って介護すると謳っており、その境界線を愛情を持って話しているか、やや尊敬、尊重に欠ける傾向があるのか、で分けて判断するようにしている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同上		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	瀬谷区社会福祉協議会に入会したり、現在後見人制度を利用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者家族の方と（市職員）立会いの元契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会やその他家族等はなせる時はそのつど要望をきいている。	家族とのご縁が薄い利用者が多い為、ご家族よりの要望を聞く機会が少ないが、面会に来られるご家族からは、来訪の都度意見を聞くようにしている。自分の考えを言える利用者も多く、利用者の意見を聞くようにしている。特に、認知が進まない段階で早めに方向性を聞いている。（特に救急対応時の考え方など）	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度会議をしその時意見を出しやすいようにし聞いている。	日頃より職員間のコミュニケーションが良く、気がついたことは、すぐに言い合える雰囲気にある。月に一度会議を行い、職員から意見を出しやすいように配慮し、意見を聞いている。待遇では勤務時間数の長い職員は優遇措置を行い、また、スタッフとして紹介してくれた場合にも考慮する制度を設けている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇給に反映したり食事会やレクリエーションなど行い改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー試験や資格取得や市の研修にも参加させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会等で常に連絡し合い向上心を喚起している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	特にその人の性格や人間性にあった人を担当者とし不安や悩みの解消に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安なことや家族からの要望に全力で聞いて答えることが安心につながると思って実行している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同上		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	同上		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで付き合いしてきた方が面会や宿泊にいつ来てもよい様にしている。	利用者の中で、近所に家族のいる方は、良く来訪頂いている。（最近は近くの方が増えている）ホームは家庭的な雰囲気なので、今まで付き合いしてきた方が面会や宿泊にいつ来て頂いてもよい様にして支援に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲間意識を持って頂き共通の行事に参加し仲良くなりたい。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	初めて対処者が出たのでその様なフォローをしていきたい。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	外出や個人の買い物等の要望を聞いている。	利用者の関心が深い食事のメニューは、毎日利用者の意見を聞き、参考にしながらメニューを決めている。外出や個人の買い物等の要望を聞いている。職員会議でAさんがこんなことを言っていると云った話が普通に出る。「スシローよりたまには夢庵に行きたい」等と利用者が云えば連れて行くよう、尊重して支援している。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活リズムを大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	同上		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議を基本に介護計画を作成している。併せて親しい方の意見を参考にしている。	看護師の資格を持つ非常勤のケアマネが週一回来てくれている。介護計画はケアマネが原案を作成した後カンファレンスを行い作成している。新入の利用者についても、すぐカンファレンスを開催し、情報の早期の共有化に努めている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	同上		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者に合わせたリハビリや外出をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	同上		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	その様なクリニックに往診して頂いている。	医療連携体制を確立している。協力医療機関の御殿山クリニックからは、月2回の往診と週1回の契約看護師の派遣を受けている。このホームと同法人の友愛歯科クリニックには訪問治療及び歯科衛生指導を受けている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ドクターと連絡し合いその様努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族とその様な連絡を取り合い情報の提供をし相談していた。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化し限界のどこまで考慮し家族と相談し次の方針をきめた。	重度化した場合、限界を考慮し、ご家族と相談し方針を決めるようにしている。ご家族にご縁の薄い利用者の場合、家族に代わってホームとしてお世話せざるを得ないケースも多く、支援に取り組んでいる。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成や実践の場で身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練等で実施しその様にしている。	年2回の避難訓練を消防署立会いで実施している。夜間想定避難訓練も実施した。東日本大震災では、利用者は意外に動揺はなかった。今回、震災に備えて水、米、缶詰など多めに準備した。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にも掲げ実施している。	人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について、ホーム長が特に理念にも掲げ、重要視している。日頃より利用者の方々との信頼関係の確立には、職員共々配慮している。尊敬の念を持った言葉遣いと親近感を醸し出す言葉遣いのバランスを考えている。失禁した場合などでは、自尊心を損なわぬよう気をつけている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけその様に心がけてしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	同上		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	同上		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同上	食材の手当には、生協の宅配便を主に利用して、1週間分をまとめ買いし、その材料を考えながら、利用者の要望を聞き、毎日のメニューを決めている。野菜等は、近所の野菜スタンドへの買い出しも利用者の散歩も兼ねて行っている。職員は主婦が中心であり料理は上手である。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	重度化しミキサー食になってもそのよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方には声がけし、出来ない方は介助し、毎週歯科の指導や口腔ケアの指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一定時間を把握し声掛けにて支援している。	利用者の排泄のパターンを把握し、声かけによりトイレの誘導を行っている。夜間おむつ着用の利用者にも昼間は、リハパンにパッド使用で、トイレでの排泄を試みている。見守り程度の人から手引き案内の人まで個別に対応している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	同上		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々の状況に応じた対処している。	日中の10-15：00ぐらいの時間を入浴の時間としている。入浴の嫌いな方にも、種々工夫しながら入浴して頂いている。殆どが介助が必要な状況であるが、一人ひとりに応じた対応に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	同上		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理はすべてホーム管理とし一日分を整理し食前後管理している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	重度化して出来なくなったのか、しなくなったのかn無気力にならぬ様つとめている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	そのようにつとめている。	お散歩が出来る人が少なくなり（歩けるのはやや2名程度）、特に男性が歩行が困難になってきており、車でスシローに行くのが外出の中心となったが日光浴等で補うように支援している。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その様な状況の時を見て支援したい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方は年賀状や手紙、電話は利用している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者ともどもそのよう支援している。	毎日通路・階段・リビング等は、利用者のお手伝いも得て掃除をしている。リビングの飾りつけはクリスマス・節分・ひな祭り・七夕等、季節感を出すための飾り付けをしている。カレンダーを作成して貼りだしたり、利用者のお誕生日の一覧表も貼り、楽しみにして頂いている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	喫煙者には喫煙場所がその様になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の慣れたものを持参しそのようになっている。	入所時に利用者、ご家族との話し合いで、ご本人の馴染みの家具や備品を持ち込んで頂いて、自分の部屋作りをして頂き、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁掛けや個人の作品を利用し皆さんに見えるところに置いてある。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム友愛

作成日 平成24年1月14日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
		職員の教育レベルの統合と意識改革	より高い介護を目指す	認知症の講義のみならず、他の分野もスキルアップする。	2年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。